

超蒸発損失抑制タイプ ディーゼルエンジンオイル

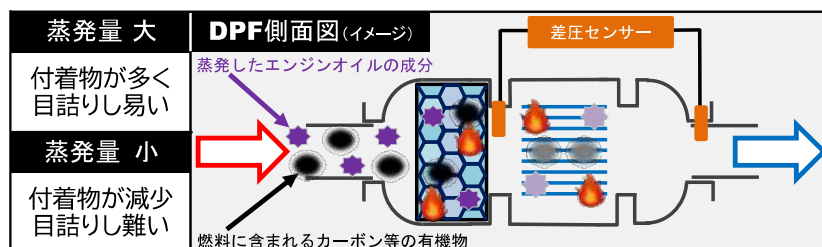
TD-30

< 特 長 >

- デイトナプロスペック「TD-30」は新たに開発した「新配合 TIEDA-G」を採用したことにより熱耐性を大幅に向上させ、長期間に渡り強靱な油膜を保持しつつ粘度低下を抑えた高性能ディーゼルエンジンオイルです。
- 更にはエンジン内部での蒸発損失を極限まで低減させ、DPF内に発生するエンジンオイルの燃焼、蒸発に起因する煤などの目詰まりを抑制し、メンテナンス費とドライバーのストレス軽減に寄与します。
- 特に低年式車はもちろんのこと、過走行車にも効果が期待できる高性能環境対応型ディーゼルエンジンオイルです。

新配合「TIEDA-G」特長	
熱耐性向上により粘度低下を抑制した超蒸発損失抑制タイプ	
TURBO	DPF
INJECTOR	AIR DRYER
EGR	GUARD

エンジンオイルの蒸発による
様々なトラブルをガード



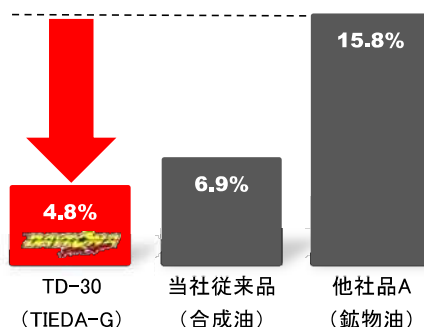
蒸発し燃焼したオイルはDPFなどへ向かい詰りの原因となります。TD-30は蒸発性を抑えたエンジンオイルです。

< 仕 様 >

粘 度	規 格	用 途
10W-30	DH-2/CF-4	DPF装着車・ディーゼル車全般向け

< 代表性状 >

試 験 項 目		
密度 (15°C・g/cm ³)		0.8612
引火点 (°C)		258
動粘度 (mm ² /s)	40°C	75.16
	100°C	11.07
粘度指数		137
流動点 (°C)		-37.5
色 (ATSM)		L2.5
塩基価 (mgKOH/g)		9.43
硫酸灰分 (質量%)		1.00
蒸発損失 (%)		4.8

**蒸発損失比較
(10W-30)**

約70%削減

※エンジン油蒸発性試験 (NOACK) による


< 荷 姿 >
荷姿：200Lドラム
■ 製 造 元 ■
中国興業株式会社

〒738-0016 広島県廿日市市可愛11番33号

TEL: (0829) 31-1277 FAX: (0829) 32-8921

<https://www.chugoku-kogyo.com>

東京支店 TEL: (03) 3273-9898 FAX: (03) 3273-9920

大阪支店 TEL: (06) 6221-5677 FAX: (06) 6221-5689

西日本支店 TEL: (0829) 31-1139 FAX: (0829) 31-5900

九州支店 TEL: (0949) 42-5961 FAX: (0949) 42-7779

■ 製品に関するお問い合わせは、下記または担当者までご連絡下さい。

■このカタログに記載の情報は性能・品質等を保証するものではありません。■発行2024年3月(記載内容は2024年3月現在のものです)

DTPS TD-30_ver.1 (管理番号5070732)

TD-30と他社品の比較実験データ CASE 1

<テスト車両データ>

メーカー	三菱ふそう	車両型式	TKG-FBA20	走行距離	183,542km	
車名(年式)	キャンター(2014年式)	エンジン型式	4P10	車両タイプ	2トンパッカー車	
車両状況	近距離収集車、STOP&GO及び燃料希釈の多い車両					
比較オイル	他社品 DH-2 10W-30 (鉱物油)	使用距離	12,180km			
検証オイル	TD-30 (部分合成油)	使用距離	13,892km			
項目	他社品 比較			TD-30 比較		
	他社品 新油	他社品 使用油	変化率	TD-30 新油	TD-30 使用油	変化率
密度 (15℃) g/cm ³	0.8800	0.8827	0%	0.8612	0.8704	1%
引火点 (COC) °C	226	152	-33%	258	182	-29%
引火点 (PM)		152	-		182	-
動粘度 (40℃) mm ² /s	68.90	42.49	-38%	75.16	35.65	-53%
動粘度 (100℃) mm ² /s	10.50	10.98	5%	11.07	6.87	-38%
粘度指数 (VI)	140	263	88%	137	156	14%
酸価 mgKOH/g	2.30	6.69	-	0.94	4.46	-
塩基価 (アルカリ価) mgKOH/g	5.80	0.07	-99%	9.43	1.08	-89%

■ 変化率について

粘度指数の変化率が大きく、かつ引火点の変化率が大きい場合、燃料が混入している傾向が考えられます。

↓

TD-30が燃料による希釈に強く、耐久性も高い結果となる

<考察>

車両の傾向としては燃料希釈が起きている車両。比較ポイントは引火点と粘度指数の変化率となり、比較するとTD-30の変化率が少ない為、燃料希釈を抑えている結果となっています。

■ 変化率について

粘度指数の変化率が大きく、かつ引火点の変化率が大きい場合、燃料が混入している傾向が考えられます。

**TD-30が燃料による
希釈に強く、耐久性も
高い結果となる**

TD-30と自社品の比較実験データ CASE 2

<テスト車両データ>

メーカー	いすゞ	車両型式	2PG-FRR90 T4		走行距離	10,000km
車名(年式)	フォワード(2024年式)	エンジン型式	4HK1-TCH		車両タイプ	4トントラック
車両状況	高速走行、一般市街地走行共に有り。350km/日の走行					
比較オイル	ハイパーワックス(HW) 10W-30 (合成油)		使用距離	25,663km		
検証オイル	TD-30 (部分合成油)		使用距離	35,335km		
項目	自社品 比較			TD-30 比較		
	HW 新油	HW 使用油	変化率	TD-30 新油	TD-30 使用油	変化率
密度 (15℃) g/cm ³	0.8522	0.8685	2%	0.8612	0.8692	1%
引火点 (COC) °C	242	186	-23%	258	214	-17%
引火点 (PM)		186	-		214	-
動粘度 (40℃) mm ² /s	68.75	65.78	-4%	75.16	71.17	-5%
動粘度 (100℃) mm ² /s	11.12	11.13	0%	11.07	11.06	0%
粘度指数 (VI)	154	162	5%	137	146	7%
酸価 mgKOH/g	1.69	3.56	-	0.94	3.54	-
塩基価 (アルカリ価) mgKOH/g	9.39	0.72	-92%	9.43	1.20	-87%

■ 変化率について

粘度指数の変化率がほぼ同等に
対し、引火点の変化率が大きい場合、
燃料が混入している傾向が考えられま
す。

↓

**TD-30が燃料による
希釈に強く、耐久性も
高い結果となる**

<考察>

従来使用オイルよりもTD-30は+10,000km多く走行しての比較。引火点の低下も従来使用のオイルよりも少なく、粘度変化も同等であることから燃料希釈に強く、耐久性を実証できた結果となりました。

■ 変化率について

粘度指数の変化率がほぼ同等に
対し、引火点の変化率が大きい場合、
燃料が混入している傾向が考えられま
す。

**TD-30が燃料による
希釈に強く、耐久性も
高い結果となる**

TD-30と他社品の比較実験データ CASE 3

<テスト車両データ>

メーカー	いすゞ	車両型式	QKG-LV234N3		走行距離	698,015km
車名(年式)	エルガ(2014年式)	エンジン型式	6HK1		車両タイプ	大型バス
車両状況	市街地走行中心					■ 変化率について 動粘度及び粘度指数、引火点の変化率がほぼ同等。
比較オイル	他社品 DH-2 10W-40 (合成油)	使用距離	11,346km			
検証オイル	TD-30 (部分合成油)	使用距離	11,839km			
項目	他社品 比較			TD-30 比較		
	他社品 新油	他社品 使用油	変化率	TD-30 新油	TD-30 使用油	変化率
密度 (15℃) g/cm ³	0.8510	0.8704	2%	0.8612	0.8629	0%
引火点 (COC) °C	238	192	-19%	258	200	-22%
引火点 (PM)		192	-		200	-
動粘度 (40℃) mm ² /s	90.30	69.25	-23%	75.16	61.56	-18%
動粘度 (100℃) mm ² /s	14.20	10.89	-23%	11.07	9.904	-11%
粘度指数 (VI)	162	148	-9%	137	146	7%
酸価 mgKOH/g	1.39	1.64	-	0.91	1.57	-
塩基価 (アルカリ価) mgKOH/g	10.60	1.16	-89%	9.43	1.61	-83%

↓

TD-30が合成油ベースの
エンジンオイルと
遜色ない結果となる

<考察>

従来使用オイルが10W-40の合成油ですが、10W-30(TD-30)使用において遜色ない結果となりました。

■ 変化率について

動粘度及び粘度指数、引火点の変化率
がほぼ同等。

**TD-30が合成油ベースの
エンジンオイルと
遜色ない結果となる**

TD-30の特長

以上の試験結果及び蒸発損失比較により、TD-30は以下の3つの点で優れていることが確認できました。

1 燃料希釈による影響が少ない

2 合成油クラスの性能を有する

3 蒸発損失を極限まで抑える

燃料希釈に強く、合成油クラスの性能を有し
オイル性能の長期維持に貢献。
更に蒸発によるスス発生を極限まで低減させる
ディーゼルエンジンオイルです。

是非とも、お試しください。



CHUGOKU KOGYO CO.,LTD.